

公表日 2026年2月20日

事業所名 こばんはうすさくら 守谷教室

保護者等数(児童数) 32名 回収数 26件(割合81%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	1	0	0	部屋が二つに分かれているのがありがたいです。夏のプールの展開場所は大通り沿いなので危険性がある	室内の整備に努めて、子供たちが快適に過ごせる環境を整えてまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	0	0	7	良い先生が多く、助かってます。	1日に6~8名程度の職員が対応しております。専門的なスキルを持った職員も多くいるため、日々のサービス向上に努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているだと思いますか。	22	1	0	3		今後も必要に応じて、掲示物やイラストを用いながら過ごしやすい環境を整えてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	0	0	0	面談などに見学させていただいても、常に綺麗な状態が保たれていると感じます。	現在、毎日・週次・月次と三種類の清掃期間に分けながら美化に取り組んでおります。引き続き子供たちが快適に過ごせる環境を整えてまいります。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	2	0	1	我が子の特性を理解した上で対応してくれる助かってます。	現在、言語聴覚士や作業療法士などスキルを持った職員も多くいるため、より専門的支援の向上に努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	2	0	4	プログラム表と同じ内容で支援がされていると思います。	提示しているプログラムと相違がないよう、留意しながら支援を行ってまいります。
	7	子どものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	25	0	0	1	子供の現在の状況をしっかり教えてくれるので対応がしやすいです。	児童本人のニーズや、保護者様の希望や想いを適切に把握し、支援計画の作成や実際の支援に反映してまいりたいと思います。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	1	0	3		同上です。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	0	0	1	きちんと目標を設定してくれます。	計画内容と実際の支援に相違がないよう、全職員で支援計画の内容を周知徹底し、支援に取り組んでまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	0	0	0	こどもたちが飽きないよう工夫が凝らされていると思います。	毎日、毎月異なったプログラムを提供できるように努めております。今後も様々な活動を通して、子どもたちが成長できる支援
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	8	10	苦手な先生もいて行き渋ることもありますが他の先生が対応してくれたりして安心して通わせられます。	実施の可否や方法について検討して参りたいと思います。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	0	0	0	契約をする際に管理者の先生からの説明がありました。	今後も不明点や疑問点がしっかりと解消されるように、説明をしてまいります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	2	0	3	契約書をもとに説明をしていただいています。	保護者様の意見がしっかりと反映されるように、今後も説明を行ってまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	3	7	10	もしもそのような機会があれば参画出来たらいいと思う。	今後必要に応じて、開催を検討してまいりたいと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23	2	0	1	普段からアプリを使用して日頃の様子をお伝えいただいています。	今後もLINEや電話、送迎時などにしっかりと共有を行い、共通理解に努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	3	3	1	聞けば教えてくださいます。	より適切なアドバイスや助言が出来るように、職員の知識向上に努めてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	2	0	2	優しい先生が多く、安心して預けさせていただいている。	子供たちの様子を日頃からしっかりと把握することで、共感的な支援が出来るよう努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	5	10	10		今後必要に応じて、開催を検討してまいりたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	2	3	2		今後も適切に対応していくように、体制並びに職員の資質向上に努めてまいります。

保護者への説明等	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	2	0	0	ラインや電話など、どちらで連絡してもちゃんと対応してもらっている。	今後も適切に対応していけるように、職員の資質向上に尽力してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	22	2	0	2	インスタグラムを毎日投稿していただいているため、その日の様子を見ることが出来る。	継続して日頃の活動が分かるような取り組みを行ってまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	1	0	3	こどもの顔写真を載らないように工夫してくれています。	十分に配慮・対応してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	3	0	4	いつも不審者訓練、避難訓練をしてくれています。	保護者様へ周知についても適宜適切に対応できるようにしてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	0	0	5		月に2回程度の実施をしております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1	0	6		児童の安全を最優先に考え、引き続き支援を行ってまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1	0	5	今のところ大きな怪我をしたことはない。	引き続きもしもケガが発生した場合は、迅速な対応と連絡を行ってまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	23	2	0	1		子供たちが安心して過ごすことができる環境を整えてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	4	0	2	先生にもよりますが楽しく行っています。	今後も子供たちが楽しいと感じる活動や取り組みを行ってまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	2	0	0	概ね満足をしている。	子供たちや保護者様の意見を真摯に受け止め、今後もサービス向上に努めてまいります。

公表日 2026年2月20日

事業所名

こばんはうすさくら 守谷教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	2	言語や作業療法など専門の職員が配置され、職員が人数も十分にいるため安心して対応できるようになった。 平日の利用児童は少ないこともあり、スペース的には十分確保されていると感じる。児発に関しては個別支援の展開も組みやすい。	面積は適切で十分なスペースがあります。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	1	手厚い支援ができる人数配置だと思う。 当日欠勤などイレギュラーがなければ特に問題はないかと思います。	職員に休みが出た際にも現場が回るよう職員を配置しております。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14	1	子供目線での環境が整っており、特性を十分理解した配慮がなされていると感じる。 掲示物など古くなったものは変えわかりやすく掲示したほうがよい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	0	清掃チェックシートを始めとした確認ツールが充実しているため、清潔保持の面では充実しているように思う。	秋ごろから店舗前の街路樹から落ち葉が教室前に散乱したり、それが教室内に入ってくることもあるため、店舗周辺の美化にも取組んでまいります。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	0	真ん中の小さなスペースや面談室、そこが使えない場合はマットで囲う、などで個別対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	4	日々の終業ミーティングで話し合う場があり、そこに参加出来ない場合は、プログラム担当者に伝えて帰ることが出来ている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	2	保護者意向が業務改善に反映されている	保護者向け評価表用いた業務改善に関しまして、継続して取組んでまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	3	定期的に面談を行うなど、意見などを言える場が設けられている。 できている時とできていない時があると思う。難しいと思うが社員MGだけでなく全体MGもあってよいのでは?	職員面談がより定期的に行われることで、意見の吸い上げが出来るような環境を整えてまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	4	こばんはうす本部からの外部評価が行われている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を開催する機会が確保されているか。	15	0	ほぼ毎月社内研修などが開催されている	より療育に特化した社内研修や外部研修に、必要に応じて企画や参加をしてまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	0	支援プログラムが適切に作成公表されている	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13	2	子どもと保護者のニーズをよく分析した上で支援計画が作成されていると思う。 職員間での情報共有は、対面・書面で行いアセスメントに繋がるようなツールがあるが、保護者のニーズを把握する機会は不足しているように思う。	発語がある児童は直接的な会話から、そうでない児童に関してはより周囲の人々や環境からの分析をすることで、支援計画の質を高めてまいります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	3	カンファレンスなどを行って共通理解を図っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	3	計画に沿った支援が行われていると感じる。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	3	より誰でもわかるような標準的なツールやシートの活用を検討する必要がある。	子供の適応行動の状況をより反映できるよう、職員全員で確認して取組んでまいります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	2	子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、具体的な支援内容の設定がなされている	地域連携などに関しては、より具体的な支援内容の設定をしてまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	0	イベントなどは担当者だけではなく、職員全員で話し合っても良いかも知れない	個人だけでなく、よりみんなで話し合いながら行なっています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15	0	毎日違うプログラムになるように組まれている。	

19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	15	0	その児童に合わせて計画書が作成されている	専門的な知識やスキルを持つ職員が多くいるため、よりそのスキルや経験が活きるよう支援してまいります。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	1	チーム連携の下で支援を行なっている。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	0	その日の児童の気づいた点などをあげながら、次回からの対応について話し合いをする場を毎日設けている。	毎日の振り返りの中で、疑問に上がった課題や問題などをその場で調べていきます。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15	0	必ず毎日業務日報をつけており、それは職員間で共有されている。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0	半年に一回モニタリングが実地されている	より多くの職員が支援計画を意識して療育に当たるよう努めてまいります。
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	1	行われる際は、日頃の様子などをまとめたシートを活用したり、管理者が出席している。	日頃の児童の様子を共有することで、会議に参加する職員が、しっかりと理解していくように努めてまいります。
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	4	受け身ではあるが、必要に応じて体制は整っている。関係機関との連携の必要性を感じているため、人員の強化を図り外部との連携が図れるよ良いように思う。	
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	4	必要に応じて園の先生などが見学をしたり、情報共有を行なったりしている。	より多角的な支援が出来るように関係機関との連携に努めてまいります。
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	4		今後必要に応じて検討・実施してまいります。
関係機関や保護者との連携	(28~30は、センターのみ回答)				
	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	(自立支援)協議会など部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	6	支援センターを利用されている児童も多いため、連携できる機会があるのであれば助言いただきたい。	今後発達支援センターとは連携を行い、必要に応じて検討・実施してまいります。
	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	6	9	現在園と連携して活動という場はないため、必要に応じて実地していきたい	今後必要に応じて検討し機会を設けてまいります。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15	0	毎日送迎時と、アプリを使用し伝達している	
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	6	昨年よりも専門職員からの情報共有や、支援の伝達が行えているが、より包括的に実施することが出来ればと思う。	保護者様向けの研修は現在実施できておりませんが、今後必要に応じて検討してまいります。
保護者への説明等	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	0	細やかな説明が行われている	
	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0	書面中心のため、対面・ZOOMでの聞き取りや相談の機会を設けられると良いなと感じる。	アセスメントや日頃の情報共有をしっかりと行なうことで、ご家族の意向を確認してまいります。
	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14	1	面談時などを利用し、丁寧な説明を行う必要がある	
	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	2	面談時に適切な職員（専門職）などから行なっている	今後も悩み事やご相談などを通して、助言や面談を行ってまいります。
	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	10		今後必要に応じて検討・実施して参ります。
40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	1	基本的には申し入れがあった際には、迅速に対応している	職員間で連絡などをしっかりと行なうことで、迅速な対応を行ってまいります。

41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15	0	Instagramを活用し、毎日の様子を発信している		
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	1	児童名や個人が特定できるものは必ずシユレッダーにかけている。	データ保管や文章保管など、それぞれの保管方法に合わせて適切な対応をしてまいります。	
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	0	保護者への配慮が必要なケースもあるため、親御さんへの批判的な視点ではなくご家庭全体へのフォローを地域として行なうと良い。		
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	13	今後需要があつた際には、必要に応じて対応していきたい	今後必要に応じて検討・実施して参ります。	
非常時等の対応	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	1	マニュアルに関して、すぐ確認できるば場所に保管されていたり、職員への周知はなされているが家族等への周知もマニュアル見直しのタイミングなどで行なうと良いと思う。	避難訓練などに関してまして、より実際の災害に備えて緊張感がある訓練を行なっています。	
	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行なっているか。	14	1	年間でスケジュールを組んで行なっている	避難訓練などに関してまして、より実際の災害に備えて緊張感がある訓練を行なっています。	
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14	1	より新入社員やヘルプの職員に向けた分かりやすい伝達をする必要がある。	今後もアセスメントシートや面談を通して、児童の状況把握に努めてまいります。	
	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15	0	必要に応じて行なっている		
	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	0	年間のスケジュールを制定し、定期的に行なっている	定期的な点検は必ず行なう。 よりみんなが安全管理を意識しているように、定期的な研修などは必要だと思う。	
	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14	1	管理者から契約時に行なっている	定期的に研修などを行うことによって、利用者の説明が十分に出来ないと感じるため、一人一人の社員がまずはしっかりと理解した上で、説明を行なっていく必要がある。	
	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0	事故と対策案の周知は習慣化しているが、ヒヤリハットとアクシデントの境界が不明確なように思うため、線引きをしても良いのではないか。		
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	2		現状虐待が問題になることは起きていませんが、事前に問題を防ぐという観点から定期的に研修などを実施してまいります。	
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	15	0		緊急時の身体拘束について、今後も契約時にしっかりと説明を行い、同意の上支援を行なってまいります。	